



嶺町だより

3月号 令和8年2月25日 大田区立嶺町小学校

校長 松橋 尚子

～ 教職員勤務時間 学期中8:10～16:40

長期休業中8:15～16:45～

しめくりの月

校長 松橋 尚子

いよいよ今年度最後の月となりました。2月14日の学校運営協議会では今年度の取組の報告とともに、令和8年度の学校経営方針についてご承認をいただきました。これをもとに大田区教育委員会に教育課程の届け出をし、令和9年度の準備を整えていきます。

こどもたちの充実した日々を創造しながら、今年度は2つの新しい課題に取り組みました。1つ目は7組（特別支援学級：自閉症・情緒障害）の開設です。人はみなそれぞれ違い、その人なりの個性があります。その個性を輝かせながら、誰もが明るく過ごせる学び舎となることを願って全教職員で力を合わせて取り組みました。みなさまにご理解いただき、安定した学級運営ができました。ありがとうございました。

2つ目は大田区の独自教科「おおたの未来づくり科」の実施です。6年生は商店街のみなさまに協力していただきながら「嶺町の力で盛り上げよう！地域の伝統行事」という授業に取り組みました。在校生に盆踊りを教える。ポスター掲示やアナウンス、うちわ配布などの宣伝活動。会場装飾のためのちょうちん制作。お祭り盛り上げメニューの考案と販売など、様々な策を考え実際に実行しました。5年生は「MAP 嶺町あげパンプロジェクト」としてあげぱんそのものとともに発案者の思いや歴史も伝えようという授業に取り組みました。アンケートによる実態調査から現状を分析し、紙芝居を作成して保育園や幼稚園に読み聞かせに行ったり、ポスターやチラシで地域住民の方への周知活動を行うなど、それぞれの得意を生かしながら意欲的に取り組みました。授業化にあたっては地域のみなさまや金羊社さん、魚の木さん、保育園・幼稚園、ゆうゆうクラブ、東京高校、大田区教育委員会各部署など、たくさんの方々に御協力いただきました。心より感謝申し上げます。

今年度の実績をもとに、令和8年度も明日が待たれるわくわくする学校づくりを目指してまいります。どうか変わらぬ御支援のほど、よろしく願いいたします。

教務主幹 石橋 康充

今年度は高学年で「おおたの未来づくり科」の新教科が始まりました。地域のお祭りに参加し盛り上げたり、「あげパン」に込められた思いを地域の方に伝えたりと学習することができました。1年生から4年生も一生懸命学習に、そして行事に取り組んでいました。

こどもたちは、この1年間で大きく成長しました。見たこと、聞いたこと、書いたこと、考えたことが、できたこと、分かったことにつながってきました。この学びの足跡があちこちにたくさん残っているはずです。どんなところが成長したか、どんな力が身に付いたかを御家庭で話題にし、その頑張りを認めてあげてください。それが、次のステップに進む、大きなきっかけになります。頑張ろうという思いにあふれた卒業、進級になるよう願っています。次の学年につなげていけるように、引き続きの御協力をお願いいたします。

生活指導主幹 松村 貫之

【こどもの心サポート月間について】

今年度もこどもの心サポート月間を6月、11月、2月に実施しました。児童へのアンケートから、いじめの早期発見や悩み事の把握に努めました。2月は特に進級に向けた不安がこどもたちから多くありました。御家庭でも、お子様の様子をよく見ていただき、気になる点があるという時は、何なりと学校まで御連絡ください。

【SNSのトラブルについて】

大田区内でもスマートフォンを使用したSNSトラブルが非常に増えています。御家庭で使用時間や場所などのルールを決めていただき、フィルタリング機能で制限をかけ、親の管理のもと、スマートフォンの使用させるようお願いいたします。引き続き、学校でも各学年の実態に合った情報モラル教育を行っていきます。

【来年度の登校時間についてのお願い】

今年度は、8時10分の登校時刻よりも早く登校した児童には「8時から校舎に入ることができる」としていました。しかし教員の勤務時間前となるため、来年度は「8時10分から校舎に入ることができる」に変更します。8時10分過ぎに正門を通過できるように、御家庭で出発時刻の調整をお願いします。尚、大田区では令和8年度より「小学校における朝の居場所づくり事業」を予定しています。朝、家庭の事情によりどうしても早く登校せざる得ないご家庭においてはその事業の利用もご検討ください。